

学位論文審査結果の要旨

博士課程 甲・乙	第 49 号	氏 名	永野元章
審 査 委 員		主 査 氏 名	行岡寛章
		副 査 氏 名	森下和広
		副 査 氏 名	福田 和成
[論文題名] Nuclear expression of thioredoxin-1 in the invasion front is associated with outcome in patients with gallbladder carcinoma HPB 14: 573-582, 2012			
[要 旨] 細胞内レドックス制御において重要な役割を果たすチオレドキシシン (TRX) とその還元酵素 (TRX-R) の胆嚢癌細胞における発現と胆嚢癌切除後の予後との相関を、進行胆嚢癌 38 症例の切除標本を用いて免疫組織化学的に解析した研究である。 その結果、すべての症例において TRX の発現を細胞質内に認めた。29 例 (76%) においては核内にも発現しており、そのうち 13 例は浸潤先端部においても発現していた。浸潤先端部において核内に TRX を発現した症例は、有意に術後生命予後が不良であった。また、根治切除症例 27 例に絞って術後生命予後に関する解析を行ったところ、浸潤先端部に癌細胞において TRX が核に発現し、かつ TRX-R が細胞質に発現する症例が、有意に予後が悪いことが示された。 以上の結果は、進行胆嚢癌の切除後生命予後を予測する上で有用な知見であり、今後の医療に資すると思われ、学位論文に値する成果と判断した。			